



文化庁 大規模かつ質の高い
文化芸術活動を核とした
アートキャラバン事業



奈良特別公演
奈良からはじまる、能楽の旅



日本全国 能楽キャラバン!

- 〔1日目〕
令和3年 11月18日(木) 14時開演
講演 千田稔 (奈良県立図書館館長)
舞囃子 「龍田」 高林白牛口二
狂言 「仏師」 茂山忠三郎
能 「三山」 金剛龍謹
- 〔2日目〕
令和3年 11月25日(木) 14時開演
講演 田中利典 (総本山金峯山寺長騰)
舞囃子 「葛城 大和舞」 櫻間右衛門
狂言 「腰祈」 野村又三郎
能 「国栖」 辰巳満次郎

会場 三輪山会館 能楽堂



日本全国 能楽
キャラバン

- 日程 令和3年11月18日(木) 開演14時(開場13時)
令和3年11月25日(木) 開演14時(開場13時)
- 会場 三輪山会館 能楽堂
- 文化振興協力金【全席指定】 A席3,000円 / B席2,000円
- チケットお申込
・カンフェティ 0120-240-540 (有人対応) [平日10:00-18:00]
<https://www.confetti-web.com>
・本公演特設サイト https://www.nohgaku.or.jp/nara_miyayama

前売りチケット販売期間 10月8日(金)～11月16日(火)

※上記を過ぎてからのチケットのご購入については当日券になります。
※販売期間にかかわらず、チケットが売り切れ次第、販売を終了させていただきますので予めご了承ください。
※お受取り・お支払い方法によって、別途手数料がかかる場合がございます。



感染防止対策として、
座席の配置は市松模様
とします。(収容率50%)



ご神体「三輪山」の尊厳なる
霊域を末永く護持し、将来に
わたる御神徳の発揚を祈念して
令和元年11月に竣工。能楽各流
派の上演に供する本格的な造り
の能舞台です。
鏡板の「老松」は文化勲章受
章者・前田青邨画伯の揮毫です。



ACCESS

三輪山会館
奈良県桜井市三輪1422番地 / TEL 0744-42-6633

【徒歩】JR「三輪駅」徒歩約5分

【バス】近鉄大阪線「桜井駅」北口2番乗り場より「大神神社二の鳥居前」下車。



当公演は字幕解説「能サポ」をご利用いただけます

- お手持ちのスマートフォン、タブレットに舞台上演に合わせた字幕解説が自動的に表示されます(日本語・能のみ)。
 - 事前にQRコードから「G・マーク」アプリ(無料)をダウンロードしてください。
 - 当日ロビーでのご案内もいたします。
- <http://www.g-marcapp.com/>

※公演中は必ず機内モードにしてご利用ください。
※周りのお客様へご迷惑にならないようご配慮ください。



■ご観覧にあたって

- ・上演中の撮影・録音・録画は固くお断りいたします。
- ・上演中はアラーム及び携帯電話の電源はお切りください。
- ・未就学児のご入場はご遠慮いただいております。
- ・出演者は都合により変更させていただく場合がございます。
- ・当日は主催者による撮影をいたします。又、関係者・メディアの撮影が入る可能性があります。客席を含む会場内の映像・写真が公開されることがありますので予めご了承ください。

■感染防止対策にご協力ください

【新型コロナウイルス感染防止対策にご協力ください】



※館内での持ち込みの食事はご遠慮ください。
※今後の状況により、公演が中止又は延期となる場合があります。
※舞台進行、演出が常とは異なる場合があります。

ご案内

日本全国 能楽キャラバン! 奈良特別公演【春日野公演】

日程 12月22日(水) 開演14時
会場 奈良春日野国際フォーラム 豊～I・RA・KA～ 能楽ホール
入場料 A席4,000円 / B席3,000円

講演 籾内佐斗司 (奈良県立美術館館長)
能 「三輪 白式神神楽」 観世鏡之丞
狂言 「寝音曲」 大藏彌右衛門
能 「野守」 金春徳高

主催 公益社団法人能楽協会 TEL 03-5925-3871 <https://www.nohgaku.or.jp/>
後援 奈良県、奈良市、桜井市



【三輪山公演 1日目】 11月18日(木) 14時開演

講演 「秦氏の足跡と猿楽」

奈良県立図書館情報館 館長 千田 稔

舞囃子(喜多流)

龍田

高林白牛口二

大鼓 河村眞之介
小鼓 後藤嘉津幸

太鼓 中田 弘美
笛 斉藤 敦

地謡 高林 昌司

高林 呻二
高林 友枝
長島 真也
友枝 真也

狂言(大威流)

仏師

シテ 茂山忠三郎

アド 大藏彌太郎

後見 山本 善之

休憩

能(金剛流)

ツレ 宇高 竜成
シテ 金剛 龍謹

ワキツレ 有松 遼一

ワキ 原 大

ワキツレ 原 陸

大鼓 河村 大
小鼓 曾和 鼓堂

笛 赤井 啓三

アイ 茂山千五郎

後見 廣田 幸稔
金剛 永謹
豊嶋 幸洋

地謡

惣明 貞助 今井 克紀
宇高 徳成 種田 道一
豊嶋 晃嗣 今井 清隆
山田 伊純 廣田 泰能

附祝言

(終演予定 16時30分)

【三輪山公演 2日目】 11月25日(木) 14時開演

講演 「壬申の乱前夜の役行者」

能楽国栖に描かれた権現様出現の背景と歴史的意義について

総本山金峯山寺 長崎 田中 利典

舞囃子(金春流)

葛城

大和舞

櫻間 右陣

大鼓 石井 保彦
小鼓 林 大和

太鼓 三島元太郎
笛 左鴻 泰弘

地謡

植松 長谷猪一郎
伊藤 眞也
北山 春彦

狂言(和泉流)

腰祈

シテ 野村又三郎

アド 野村 信朗

アド 野口 隆行

後見 藤波 徹

休憩

能(宝生流)

ツレ 石黒 実都
ツレ 辰巳 孝弥
子方 辰巳紫央莉
シテ 辰巳満次郎

ワキツレ 是川 正彦

ワキ 福王 知登

ワキツレ 喜多 雅人

大鼓 大村 滋二
小鼓 成田 達志

太鼓 井上 敬介
笛 竹市 学

アイ 小笠原由禰
アイ 野村又三郎

後見 内藤 飛能
辰巳大二郎

地謡

渡邊 珪助 小倉伸二郎
木谷 哲也 山内 崇生
辰巳 和磨 和久莊太郎

附祝言

(終演予定 16時30分)

狂言「仏師」ぶっし

持仏堂を建立した田舎の者が、ご本尊を仏師に依頼しようと都に上る。それに目をつけたすっぱ(詐欺師)は仏師になりすまし、明日には仕上げられるなどと言葉巧みに仕事を引き受ける。翌日、田舎の者が約束の時間に指定された因幡堂を訪ねると…



能「三山」みつやま

融通念仏の開祖・良忍上人が大和国を訪れ、名所である香久・畝傍・耳成の「三山」へ向かう。すると一人の女が現れ、昔、畝傍の桜子と耳成の桂子が香久山の男を巡って争った話をし、負けて身を投げた桂子の弔いを頼み姿を消す。良忍聖が回向していると二人の女の亡霊が現れ、未だ争いの様を見せるが、念仏によって救われ消えていく。



狂言「腰祈」こしいのり

大峰山・葛城山での修行を終えて山伏(卿ノ殿)は、羽黒山への帰郷の途中で久しぶりに都の祖父のもとを訪ねる。年老いてすっかり腰が曲がってしまった祖父を見た山伏は気の毒に思い、修行した祈祷で腰を元のように伸ばそうと呪文を唱えるが、その効き目やいかに…



能「国栖」くす

都を追われ吉野へ落ちのびた天武天皇は川舟を操る老夫婦の家で休息をとる。夫婦は帝を国栖魚でもてなすが、帝が食べ残した魚を川に放つと生き返るといふ奇特が起き、これは天皇が都へ還幸する吉兆と喜ぶところに追っ手が迫る。しかし夫婦の機転によって天皇を舟に隠し、追っ手を追い返すと、その夜、天女が天降って舞を舞い、蔵王権現も出現して天武の御代を言祝ぐ。



千田 稔 (せんた・みのる)



一九四二年 奈良県生。京都大学大学院文学研究科博士課程を経て追手門学院大学助教授、奈良女子大学教授を経て国際日本文化研究センター教授。現在、国際日本文化研究センター名誉教授、奈良県立図書館情報館館長、博士(文学・京都大学)。濱田青陵賞、日本地理学会優秀賞、奈良新聞文化賞、古事記出版大賞(近著『飛鳥の覇者』(文芸堂))、『まよやかな文明 日本』(NNT出版)など多数。

田中利典 (たなか・りてん)



一九五五年 京都府生。二〇〇一年金峯山修験本宗宗務総長及び金峯山寺執行長に就任。二〇〇四年に認定された世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」の登録推進に活躍。二〇一五年宗務総長退任。現在、宗教学所林南院住職、金峯山寺長職、種智院大学客員教授、半僧半文研究所所長など。著書に『体を使つて心をおさめる』(修験道入門)(集英社新書)、『よく生き、よく死ぬための仏教入門』(扶桑社新書)など多数。

高林白牛口二 (たかばやし・こうじ)



シテ方喜多流。一九三五年生。故高林吟二の次男。父に師事。一九三八年、能「飛鳥川」子方にて初舞台。重要無形文化財保持者(総合認定)。公益社団法人能楽協会大阪支部副支部長、一般社団法人日本能楽会理事、喜多流職分会理事。一九九八年大阪府知事表彰。二〇一八年第二十八回催花賞、二〇一九年度京都市文化芸術振興賞受賞。

茂山忠三郎 (しげやま・ちゅうざぶろう)



狂言方大威流。一九八二年生。故四世茂山忠三郎の長男。父に師事。一九八六年、狂言「伊呂波」にて初舞台。一般社団法人忠三郎狂言会代表理事、京都橘大学客員教授、京都芸術大学講師。二〇〇九年度文化庁文化交流使。二〇一三年文化庁芸術祭新人賞、二〇一六年京都市文化賞奨励賞、二〇一九年京都市芸術新人賞受賞。

金剛龍謹 (こんこう・りゅうじん)



シテ方金剛流。一九八八年生。二十六世宗家金剛永謹の長男。故二十五世宗家金剛巖及び父に師事。一九九三年、仕舞「狸」にて初舞台。公益財団法人金剛能楽堂財団理事。京都市立芸術大学非常勤講師。

櫻間右陣 (さくらま・うじん)



シテ方金春流。一九六一年生。故櫻間道雄、故櫻間金太郎に師事。一九六六年、能「鞍馬天狗」にて初舞台。重要無形文化財保持者(総合認定)。

野村又三郎 (のむら・またさぶろう)



狂言方和泉流。一九七一年生。故十三世野村又三郎の嫡男。父に師事。一九七六年、狂言「靉猿」にて初舞台。重要無形文化財保持者(総合認定)。公益社団法人能楽協合理事。名古屋文化短期大学非常勤講師。一九九七年松尾芸能賞新人賞、二〇〇四年芸術創造賞、二〇〇九年名古屋市芸術奨励賞、二〇一四年愛知県芸術文化選奨文化賞受賞。

辰巳満次郎 (たつみ・まんじろう)



シテ方宝生流。一九五九年生。故辰巳孝の次男。故十八世宗家宝生英雄及び父に師事。一九六四年、能「国栖」にて初舞台。重要無形文化財保持者(総合認定)。公益社団法人宝生会理事、公益財団法人友愛会副理事長、学校法人羽衣国際大学学術文化顧問、一般社団法人日本芸術文化戦略構理事。

「能楽を旅する - Journey through Nohgaku -」～日本の魅力再発見～

“旅”をキーワードに、能楽の魅力「四季」「自然」「歴史」などの角度からお届けする特設サイト



「日本全国 能楽キャラバン！」とは「こころ弾む、能楽体験」をコンセプトに、全国20地域・35会場・71公演というかつてない規模で開催される能楽の祭典です。今回、能楽発祥の地・大和(奈良県)では特別公演を開催。約700年続く能楽は、南北朝時代の「大和猿楽」の流れを汲みます。能楽の故郷で味わう歴史と文化溢れる能楽の世界。新型コロナウイルス感染症の終息を願い、この世界に誇る「能楽」を未来に伝える公演を開催いたします。



夏：佐渡・大勝神社
秋：吉野・金峯山寺蔵王堂
冬：平泉・中尊寺 白山神社